

平成28年度老人保健健康増進等事業

＜ユニット型施設等における人材育成に関する調査研究事業＞

＜株式会社 三菱総合研究所＞

1. 事業目的

本事業では、これからの時代にふさわしいユニットケア研修制度の提案に向けて、平成25年度、26年度、27年度老健事業の成果を踏まえ、ユニット施設管理者研修の見直しを行うとともに、ユニットケア研修の指導者養成のあり方を検討した。

2. 事業内容

(1) ユニット型施設管理者研修の見直し

平成26年度、平成27年度に検討したユニットリーダー研修カリキュラムおよびカリキュラム細則、テキスト、指導要領等を活用して、管理者研修の内容の見直しを行った。

- ①ユニット型施設管理者研修カリキュラムの作成
- ②ユニット型施設管理者研修用指導要領およびテキストの作成

(2) ユニットケア研修における指導者養成および実地研修施設の確保についての検討

新たなカリキュラムによるユニットケア研修の実運用に向けて、研修実施機関による指導者および実地研修施設の養成、確保のための方策を検討した。

- ①現在ユニットケア研修を実施している機関を対象とするヒアリング調査の実施
- ②指導者の養成に関する検討
- ③実地研修受け入れ施設の選定と養成に関する検討

3. 事業結果

(1) ユニット型施設管理者研修の見直し

ユニットリーダー研修内容の変更に伴い、管理者研修の内容について見直しを行った。研修の構成としては、現行の管理者研修と同等の3日間の日程を想定するとともに、参加の負担軽減や利便性の向上に配慮し、同等の内容であることを前提としてe-learning等を活用した自己学習を組み合わせた構成(1.5日コース)についても検討を行った。

平成27年度に検討したユニットリーダー研修用テキストをもとに、管理者研修にも併用できるテキストを作成した。管理者向けの内容を追加するとともに、管理者向け、ユニットリーダー向けの重点を明確にした。指導要領については、各単元のねらいと管理者研修において参照する箇所、管理者向けの内容として強調すべき部分を明確に示した。

(2) ユニットケア研修における指導者養成および実地研修施設の確保についての検討

新たなカリキュラムによるユニットケア研修の実運用に向けて、研修実施機関による指導者および実地研修施設の養成、確保の現状を把握し、今後に向けた検討課題を整理した。各研修実施機関では、研修の質を担保するため、講師養成ならびに実地研修施設の確保、育成において、基準以上の取組を実施していることが把握された。一方で、現状の指導者養成における課題としては、指導者の人材確保および指導内容の標準化の2点が挙げられた。また、実地研修受け入れ施設の選定、養成においては、研修施設へのアクセスに関する課題が挙げられた。実地研修受け入れ施設の選定基準については、国の定める評価項目に独自項目を上乗せし、実施機関の理念を反映した質の高い施設の選定を行われ、フォローアップの仕組みも重視されていた。

今後の検討課題としては、研修指導者、実地研修受け入れ施設とともに、適切な指導者や施設の確保、研修内容の標準化と質向上のための仕組みづくり、および新カリキュラムに対応した講師や実地研修受け入れ施設の養成などが挙げられた。